

令和7年度

千葉県公立高等学校入学者選抜  
学力検査結果の概要

千葉県教育委員会

# 目 次

|     |                           |    |
|-----|---------------------------|----|
| I   | 概 要 . . . . .             | 2  |
| II  | 出題方針（本検査・追検査共通） . . . . . | 4  |
| III | 【本検査】教科別の結果 . . . . .     | 6  |
| IV  | 【本検査】受検者の得点分布 . . . . .   | 16 |
| V   | 【追検査】 . . . . .           | 18 |

# I 概 要

## 1 はじめに

令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜では、一般入学者選抜等の本検査及び追検査において学力検査を実施した。その結果等をもとに作成した「学力検査結果の概要」を、本県中学校及び高等学校において、教科指導向上のための資料の一つとして御活用願いたい。

## 2 実施日及び教科

本検査の学力検査は、令和7年2月18日（火）に国語・数学・英語、19日（水）に理科・社会を、国語・社会・数学・理科は各教科50分、英語は60分、各100点満点で実施した。

追検査の学力検査は、令和7年2月27日（木）に国語・社会・数学・理科・英語を、国語・社会・数学・理科は各教科50分、英語は60分、各100点満点で実施した。

## 3 調査の対象

本結果は、令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜における一般入学者選抜の本検査及び追検査の学力検査で、全日制の課程（特別入学者選抜、地域連携アクティブスクール6校を除く。）を受検した者の結果等をまとめたものである。

なお、本検査の正答率・無答率については、各教科とも令和5年度までは全日制の課程の全受検者のうちから抽出した答案（全体の約10％）によって算出していたが、令和6年度からはデジタル採点システム導入に伴い、全受検者の答案から算出している。また、追検査は、受検者が少ないため、平均点及び正答率・無答率を記していない。

## 4 学力検査問題の特徴

学力検査問題の作成に当たっては、各教科とも中学校学習指導要領に基づき、総合的な力をみることができるよう配慮した。

令和7年度の学力検査問題の特徴は、次の2点である。

- 基礎的・基本的な事項の正確な理解度をみることができるよう、複数の解答を選択させ、全て正しい場合にのみ正解とする問題や、理由を書かせる問題を設定した。
- 中学校段階で学習した基礎的な知識を活用して答えを導く問題や、思考力、判断力、表現力等を総合的にみることができるような問題を設定した。

上記2点を柱に、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、学習活動をとおして確かな学力を身に付けているかをみる問題を充実させた。

## 5 結果の概要

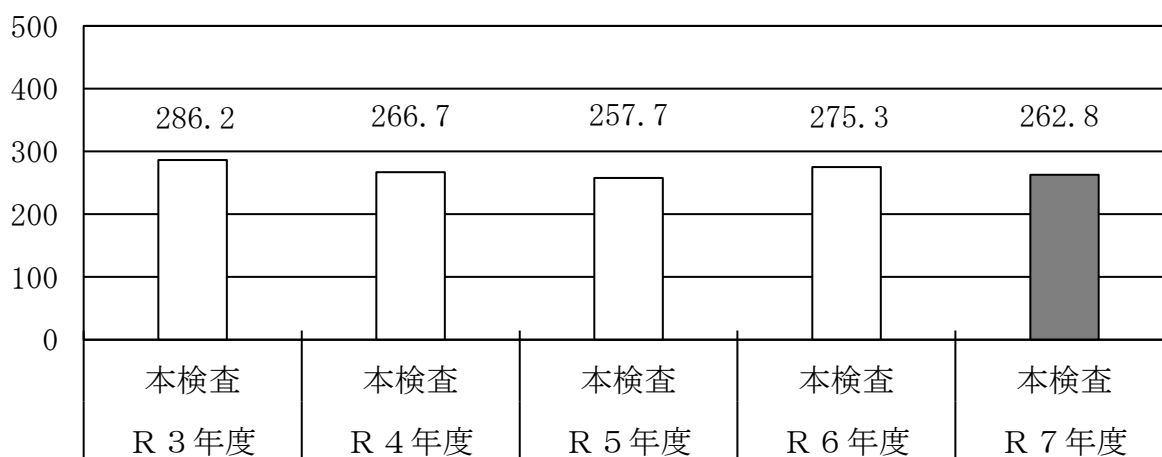
【表】各教科及び5教科の平均点

( )内は標準偏差

|               |     | 国 語            | 社 会            | 数 学            | 理 科            | 英 語            | 5教科             |
|---------------|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 令和<br>7<br>年度 | 本検査 | 56.6<br>(15.6) | 51.7<br>(19.5) | 52.0<br>(20.8) | 55.4<br>(20.5) | 47.1<br>(21.8) | 262.8<br>(88.3) |
| 令和<br>6<br>年度 | 本検査 | 50.4<br>(15.8) | 57.5<br>(22.2) | 51.9<br>(19.4) | 59.1<br>(19.4) | 56.4<br>(24.1) | 275.3<br>(91.8) |
| 令和<br>5<br>年度 | 本検査 | 47.9<br>(15.5) | 54.5<br>(19.8) | 47.0<br>(18.8) | 60.7<br>(21.9) | 47.6<br>(23.2) | 257.7<br>(90.6) |

【図】5教科の平均点の経年変化

(点)



各教科及び5教科の得点合計の平均点は、【表】に示したとおりである。

また、5教科の平均点の経年変化を【図】に示した。令和7年度の本検査の5教科の平均点を見ると、前年度の本検査より12.5点低かった。

なお、本検査受検者の得点分布については、16、17ページに示した。

## Ⅱ 出題方針（本検査・追検査共通）

### 1 国 語

- ア 学習指導要領に基づき、国語の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 様々な文章について、内容を的確に理解し、書き手の伝えたいことなどを考察する力をみることができるようにした。
- ウ 自分の立場や考えとその根拠が明確になるように、複数の情報を整理し判断する力をみることができるようにした。
- エ 言葉による見方・考え方を働かせ、自分の言葉で考えを適切にまとめたり、相手に的確に伝えたりする力をみることができるようにした。

### 2 社 会

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにした。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにするとともに、現代社会の諸課題に対する理解の程度をみることができるようにした。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用し、社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力をみることができるようにした。
- エ 現代社会の諸課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察する力や筋道を立てて思考する力をみることができるようにした。

### 3 数 学

- ア 学習指導要領に基づき、数学的な見方・考え方を働かせながら行う数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 数学の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにした。
- ウ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、統合的・発展的に考察する力及び表現する力をみることができるようにした。
- エ 問題解決のために、数学を活用して粘り強く考える力をみることができるようにした。

## 4 理 科

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにした。
- イ 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項の知識や、観察、実験の技能を身に付けているかをみることができるようにした。
- ウ 観察、実験のデータ及び図や表などを活用し、理科の見方・考え方を働かせ、結果を分析して解釈する力、そしてそれを表現する力をみることができるようにした。
- エ 日常生活の中で起こる現象や身近な事物について進んで関わり、科学的に探究しようとしているかをみることができるようにした。

## 5 英 語

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識及び技能と、英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、理解したり表現したりする力を全領域にわたり身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通して、対話文やまとまりのある文章から話し手の意向や大切な事柄を聞き取り、適切に判断して答える力をみることができるようにした。
- ウ 「読むこと」の領域では、日常的、社会的な話題に関する文章や図表、イラスト等から、必要な情報、概要や要点を読み取り、適切に答える力や、読み取った情報を基に思考し、判断する力をみることができるようにした。
- エ 「話すこと〔やり取り〕」及び「話すこと〔発表〕」と「書くこと」の領域では、日常的、社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて話したり伝え合ったりする力及び自分の考えなどを英語でまとめ、適切に書く力をみることができるようにした。

## Ⅲ 【本検査】教科別の結果

### 1 国 語（本検査）

#### （1）出 題 内 容

大問一（聞き取り検査）は、坂本さんと加藤さんが、昨日の出来事について話している場面聞き、話が伝わらなかった理由や説明に不足していたことや、「親しい間柄だからこそ伝わらない」原因について考える問題である。大問四（説明的な文章）(6)は同じ著作の関連する箇所を、また、大問六（古典）(5)は作品を読んだ生徒の話し合いの場面を、別資料として提示し、複数資料の分析を通じてさらに深く読み解き、筆者の考えや本文が伝えたい内容について表現する力をみる問題である。大問七（条件作文）は、文章を読んで空欄に入る言葉を一つ選んで示し、その発言に込められたキツネの気持ちを書くとともに、完成した文章から読み取れることを、自分の体験をふまえて書く問題である。

#### （2）結 果 の 説 明

全体の平均点は56.6点で、前年と比べて6.2点高くなった。

正答率が高かった問題は、大問一(1)「会話の流れの理解」、大問二「漢字（読み）」(1)「絹〔きぬ〕」、大問二「漢字（読み）」(2)「淡（い）〔あわ〕」、大問六(2)「歴史的仮名遣い」であった。一方、正答率が低かった問題は、大問四(6)(b)「文章の内容の理解と表現」、大問五(5)「登場人物の心情の理解」及び大問六(5)(c)「文章の内容の理解と表現」であった。記述による解答の正答率が低いのは、例年と同じ傾向であり、中学生対象の全国学力・学習状況調査の結果とも一致しており、引き続き、課題であると言える。

無答率が高かった問題は、大問六(5)(c)「文章の内容の理解と表現」、大問四(6)(b)「文章の内容の理解と表現」及び大問三「漢字（書き）」(4)「初志（貫徹）」であった。

なお、正答率が最も高かったのは「話すこと・聞くこと」の領域であり、91.0%であった。

#### （3）指導のポイント

様々な文章に触れて、漢字の使い方を身に付けさせるとともに、四字熟語を文脈によって適切に使いこなせるよう、習熟させることが大切である。学習指導要領で重視している「情報の扱い方に関する事項」については、複数資料の情報を的確に把握し、条件に従って表現する力を養うために、情報と情報との様々な関係を図式化するなど、情報を整理して自分の考えを形成し記述することを繰り返し行うことが望まれる。また、「読むこと」の指導として、語彙を豊かにする指導や、文脈をより正確に読み取らせる指導も併せて行うことが重要である。

「書くこと」においては、授業のまとめや感想を簡潔な文章で書く活動などを通して、書くこと自体への抵抗感を緩和していくことが望まれる。また、説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめ、グループで読み合ったり、発表したりする活動を通して、自分が表現した内容を確認し、目的に照らし合わせて改善することができるよう指導することが有効である。

## (4) 問題の内容

答案数=32,603

| 問 |       |      | 問題の内容                                           | 問題形式   |        |        | 正答率<br>(%) | 無答率<br>(%) |
|---|-------|------|-------------------------------------------------|--------|--------|--------|------------|------------|
|   |       |      |                                                 | 選<br>択 | 短<br>答 | 記<br>述 |            |            |
| 一 | (1)   |      | 放送による聞き取り                                       | ○      |        |        | 98.1       | 0.0        |
|   | (2)   |      | 中学生二人が、昨日の出来事について話す場面                           | ○      |        |        | 85.8       | 0.1        |
|   | (3)   |      | 会話の流れの理解                                        | ○      |        |        | 89.0       | 0.1        |
| 二 | (1)   |      | 絹 [きぬ]                                          |        | ○      |        | 95.1       | 1.0        |
|   | (2)   |      | 漢字 (読み)                                         |        | ○      |        | 94.1       | 0.8        |
|   | (3)   |      | 静寂 [せいじゃく]                                      |        | ○      |        | 85.2       | 1.8        |
|   | (4)   |      | 謄本 [とうほん]                                       |        | ○      |        | 47.6       | 9.1        |
| 三 | (1)   |      | 困 (る)                                           |        | ○      |        | 88.9       | 5.5        |
|   | (2)   |      | 授 (かる)                                          |        | ○      |        | 53.4       | 24.9       |
|   | (3)   |      | 漢字 (書き)                                         |        | ○      |        | 46.4       | 14.4       |
|   | (4)   |      | 航路                                              |        | ○      |        | 32.6       | 30.4       |
| 四 | (1)   |      | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 39.6       | 0.4        |
|   | (2)   |      | 文章の内容の理解 (完答)                                   | ○      |        |        | 21.2       | 0.1        |
|   | (3)   |      | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 40.6       | 0.6        |
|   | (4)   |      | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 66.0       | 0.6        |
|   | (5)   |      | 『ルビンのツボ-芸術する体と心』                                | ○      |        |        | 52.6       | 1.0        |
|   | (6)   | (a)  | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 82.2       | 1.7        |
|   |       | (b)  | 文章の内容の理解と表現 (40字以上、50字以内)                       |        |        | ○      | 7.0        |            |
|   |       |      |                                                 |        |        |        | 9.8        |            |
| 五 | (1)   |      | 文章中の品詞の理解                                       | ○      |        |        | 85.3       | 0.6        |
|   | (2)   |      | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 49.9       | 0.4        |
|   | (3)   |      | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 50.6       | 0.6        |
|   | (4)   |      | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 73.0       | 0.8        |
|   | (5)   |      | 登場人物の心情の理解 (完答)                                 | ○      |        |        | 20.2       | 1.1        |
|   | (6)   |      | 『墨のゆらめき』                                        | ○      |        |        | 78.2       | 2.7        |
|   | (7)   | 4点   | 登場人物の心情の理解と表現 (25字以上、35字以内)                     |        |        | ○      | 31.2       |            |
|   |       | 1~3点 |                                                 |        |        |        | 14.2       |            |
| 六 | (1)   |      | 主語の理解                                           | ○      |        |        | 33.8       | 1.3        |
|   | (2)   |      | 歴史的仮名遣い                                         |        | ○      |        | 94.1       | 1.6        |
|   | (3)   |      | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 75.6       | 2.0        |
|   | (4)   |      | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 41.3       | 2.6        |
|   | (5)   | (a)  | 文章の内容の理解                                        | ○      |        |        | 84.8       | 3.4        |
|   |       | (b)  | 漢文訓読法                                           | ○      |        |        | 80.6       | 3.7        |
|   |       | (c)  | 文章の内容の理解と表現 (15字以上、20字以内)                       |        |        | ○      | 16.5       | 38.5       |
| 七 | 12点   |      | 条件作文                                            |        |        | ○      | 19.0       |            |
|   | 8~11点 |      | キツネとぶどう (参考『イソップ物語』)                            |        |        |        | 23.9       |            |
|   | 4~7点  |      | 文章を読んだ上で、条件をふまえて書く二段落構成の作文 (200字以内)             |        |        |        | 23.6       |            |
|   | 1~3点  |      | ・前段は、空欄に入る言葉を選び、その発言に込められたキツネの気持ちを書く            |        |        |        | 7.6        |            |
|   | 無答    |      | ・後段は、選んだ言葉で完成した文章からどのようなことが読み取れるのか、自分の体験をふまえて書く |        |        |        |            | 6.5        |

## 2 社 会（本検査）

### （1）出 題 内 容

「現代社会の諸課題に対する関心や理解の程度をみることができる問題」を多く出題した。具体的には、大問 **1(4)**、大問 **2(4)②**、大問 **6(1)**、大問 **8(1)**である。

「諸資料を活用し、社会的事象を判断・分析する力をみることができる問題」を多く出題した。具体的には、大問 **1(3)**、大問 **2(2)・(4)**、大問 **3(2)・(4)**、大問 **5(1)・(2)**、大問 **6(3)**、大問 **8(2)**である。

「社会的事象について、自らの思考を表現する力をみることができる問題」を、地理的分野、歴史的分野、公民的分野から1問ずつ出題した。具体的には、大問 **3(5)**、大問 **4(3)**、大問 **7(3)**である。

歴史的分野において、出来事などを年代の古いものから順に並べ替える問題を2問出題した。具体的には、大問 **4(2)**、大問 **5(3)**である。

### （2）結 果 の 説 明

全体の平均点は51.7点で、前年度と比べて5.8点低くなった。

分野・内容別の正答率は、総合問題が62.2%、地理分野が65.6%※（日本地理：71.3%、世界地理：58.6%※）、歴史分野が47.3%※（前近代史：45.2%※、近・現代史：49.0%）、公民分野が55.7%※（国民生活と経済・社会：61.8%、日本の政治制度：55.2%※、国際社会：47.0%）であった。なお、※の付された数値は、部分点がある設問を除いた正答率として計算している。

正答率が高かった問題は、大問 **2(4)②**「防災への意識と取り組み」及び大問 **5(5)**「グローバル化」であった。一方、正答率が低かった問題は、大問 **3(5)**「フィヨルドの定義」、大問 **7(3)**「首長の解職（リコール）」及び大問 **4(3)**「信長の城下町政策」であった。無答率が高かった問題は、大問 **7(3)**「首長の解職（リコール）」、大問 **4(3)**「信長の城下町政策」及び大問 **3(5)**「フィヨルドの定義」であった。

### （3）指 導 の ポ イ ン ト

地理的分野では、基礎的・基本的な地理的事象や地図の特性を理解し、地図や資料の活用技能の定着を図り、それらを基に諸資料を活用する力を身に付けさせることが大切である。景観写真や統計資料、主題図等から地理的事象や地域の特色を読み取らせる活動を通して、様々なことがらに視野を広げ、読み取ったことを相互に関連付けて考察することで、地理的事象の仕組みや原因、他地域との関わりなどについて理解させたい。

歴史的分野では、歴史の大きな流れをつかみ、基礎的・基本的な知識の定着を図ることが大切である。また、個別の歴史的事象の関連性や因果関係などを理解するために、生徒が主体的に歴史的な見方・考え方を働かせ、年表や図を用いて簡潔に自分の言葉でまとめ、表現する活動が有効である。生徒が知識を暗記するだけでなく、情報を収集し、読み取り、活用につなげる技能を身に付けさせる指導や、歴史的事象の因果関係について生徒が主体的に考察できるような授業実践が重要である。

公民的分野では、新聞やインターネットなどを活用して、時事的な問題への興味・関心を高めることや、複数の資料を活用し、様々な公民的な事象と関連付けて学習を深めることが大切である。

例えば、授業の内容と関連した新聞記事やニュース動画を用い、社会の動きと学習内容とを関連付けて考えさせる活動や社会的事象について自らの言葉で要約し、それに対する自分の意見を書かせる指導が有効である。

#### (4) 問題の内容

答案数=32,579

| 問   |     |               | 問題の内容      | 問題形式                  |              |        | 正答率<br>(%) | 無答率<br>(%) |      |      |      |
|-----|-----|---------------|------------|-----------------------|--------------|--------|------------|------------|------|------|------|
|     |     |               |            | 選<br>択                | 短<br>答       | 記<br>述 |            |            |      |      |      |
| 1   | (1) |               | 総合問題       | 廃藩置県実施の背景             |              |        | ○          |            |      | 49.2 | 0.1  |
|     | (2) |               |            | 公害対策基本法と環境庁設立         |              |        | ○          |            |      | 62.4 | 0.1  |
|     | (3) |               |            | 千葉県の訪日外国人訪問者数の動向      |              |        | ○          |            |      | 60.7 | 0.2  |
|     | (4) |               |            | 生成AI活用に係る情報リテラシー      |              |        | ○          |            |      | 76.3 | 0.1  |
| 2   | (1) |               | 日本地理       | 日本アルプスとフォッサマグナ        |              |        | ○          |            |      | 85.3 | 0.0  |
|     | (2) |               |            | 日本の果実の主産地             |              |        | ○          |            |      | 39.2 | 0.2  |
|     | (3) |               |            | 石狩平野の土壌               |              |        | ○          |            |      | 69.6 | 0.1  |
|     | (4) | ①             |            | 地形図と防災マップ             |              |        | ○          |            |      | 68.0 | 0.2  |
|     |     | ②             |            | 防災への意識と取り組み           |              |        | ○          |            |      | 94.3 | 0.2  |
|     |     |               |            |                       |              |        |            |            |      |      |      |
| 3   | (1) |               | 世界地理       | 時差から任意の地点の経度          |              |        | ○          |            |      | 53.3 | 0.1  |
|     | (2) |               |            | 日本の貿易総額及び貿易相手         |              |        | ○          |            |      | 70.0 | 0.1  |
|     | (3) |               |            | 中国の経済特区と成長            |              |        | ○          |            |      | 51.9 | 0.1  |
|     | (4) |               |            | 地中海性気候の特徴             |              |        | ○          |            |      | 59.2 | 0.6  |
|     | (5) | 4点            |            | フィヨルドの定義              |              |        |            |            | ○    | 3.4  |      |
|     |     | 1～3点          |            |                       |              |        |            |            |      | 4.1  |      |
|     |     | 無答            |            |                       |              |        |            |            |      | 14.4 |      |
|     | 4   | (1)           |            | 前近代史                  | 7世紀における世界の宗教 |        |            | ○          |      |      | 38.8 |
| (2) |     | 日本と中国との関わりの変遷 |            |                       | ○            |        |            | 55.3       | 0.2  |      |      |
| (3) |     | 4点            | 織田信長の城下町政策 |                       |              |        |            | ○          | 17.4 |      |      |
|     |     | 1～3点          |            |                       |              |        |            |            | 9.3  |      |      |
|     |     | 無答            |            |                       |              |        |            |            | 19.8 |      |      |
| (4) |     | 日本の国内文化の変遷    |            |                       | ○            |        |            | 49.7       | 0.1  |      |      |
| (5) |     | 浮世絵の役割        |            |                       | ○            | ○      |            | 36.9       | 1.0  |      |      |
|     |     |               |            |                       |              |        |            |            |      |      |      |
| 5   | (1) |               | 近・現代史      | インドにおけるイギリスの帝国主義政策    |              |        | ○          |            |      | 34.0 | 0.1  |
|     | (2) |               |            | ガンディーの非暴力不服従          |              |        | ○          |            |      | 48.2 | 0.3  |
|     | (3) |               |            | 太平洋戦争直前までの出来事         |              |        | ○          |            |      | 21.9 | 0.5  |
|     | (4) |               |            | 日本とイギリスにおける産業革命の相違    |              |        | ○          |            |      | 48.8 | 0.5  |
|     | (5) |               |            | グローバル化                |              |        | ○          |            |      | 91.9 | 0.1  |
| 6   | (1) |               | 経済         | 企業の社会的責任、ワーク・ライフ・バランス |              |        | ○          |            |      | 70.7 | 0.1  |
|     | (2) |               |            | 日本銀行の役割               |              |        | ○          |            |      | 78.1 | 0.2  |
|     | (3) |               |            | 国民負担率の国際比較、小さな政府      |              |        | ○          |            |      | 36.7 | 0.3  |
| 7   | (1) |               | 政治         | 明治時代の選挙               |              |        | ○          |            |      | 46.6 | 0.4  |
|     | (2) |               |            | 裁判所の種類                |              |        | ○          |            |      | 63.7 | 0.9  |
|     | (3) | 4点            |            | 首長の解職（リコール）           |              |        |            |            | ○    | 13.2 |      |
|     |     | 1～3点          |            |                       |              |        |            |            |      | 9.7  |      |
|     |     | 無答            |            |                       |              |        |            |            |      | 27.1 |      |
| 8   | (1) |               | 国際         | マイクロクレジット             |              |        | ○          |            |      | 41.6 | 0.7  |
|     | (2) |               |            | 世界の発電エネルギー源           |              |        | ○          |            |      | 52.4 | 1.4  |

### 3 数 学（本検査）

#### （1）出 題 内 容

大問1は、各領域の基本的な問題である。

大問2は、関数  $y=ax^2$  からの出題であり、与えられた条件から、三角形の面積を求めたり、比例定数を求めたりする問題である。

大問3は、2つの三角形が相似であることを証明するとともに、図形の性質を利用して三角形の面積を求める問題である。

大問4は、おうぎ形と円錐をそれぞれすべらないように転がした場合について、会話文や図から情報を正確に読み取り、点が移動した跡の長さや点の動きを考察する問題である。

#### （2）結 果 の 説 明

全体の平均点は52.0点で、前年度と比べて0.1点高くなった。

数と式の領域では、大問1(1)①「正の数と負の数（四則計算）」の正答率が最も高く、大問1(2)②「二次方程式（二次方程式を解くこと）」の正答率が最も低かった。

図形の領域では、大問3(1)「平面図形（二等辺三角形）」の正答率が最も高く、大問3(3)「平面図形（相似の応用）」の正答率が最も低かった。

関数の領域では、大問2(1)「関数  $y=ax^2$ （比例定数）」の正答率が最も高く、大問2(3)「関数  $y=ax^2$ （平行四辺形）」の正答率が最も低かった。

データの活用の領域では、大問1(4)①「データの分布の比較（四分位範囲）」の正答率が最も高く、大問1(5)②「場合の数を基にして得られる確率（直方体とカード）」の正答率が最も低かった。

無答率は、大問3(3)「平面図形（相似の応用）」、大問4(6)「空間図形（円錐の回転）」の順に高かった。

#### （3）指 導 の ポ イ ン ト

##### 「数と式」

文字を用いた式について、目的に応じて計算したり、変形したりするなど、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、具体的な事象の数量関係から方程式を立てたり、その解を吟味したりするなど、事象と関連付ける活動をより一層充実させる必要がある。特に、二次方程式の解は、得られた解が問題の答えとして適切であるかどうかを調べることが大切である。

##### 「図形」

観察や操作などの活動を通して、見通しをもって作図したり、図形の関係について調べたりするなど、考察を促す指導が必要である。また、証明問題については、証明を振り返り、条件がどのように用いられていたかを確認するといったような活動を通して、論理的に考察する力を養いたい。

##### 「関数」

具体的な事象との関わりを持たせながら指導する必要がある。数学的に解釈し、変化の特徴を見いだしたうえで、式やグラフなどを用いながら他者に説明するような場면을積極的に設けることで、思考力、判断力、表現力等を育てたい。

##### 「データの活用」

日常生活や社会に関わる問題を取り上げて指導することが重要であり、説明し伝え合う機会を設けることで、理解を深めることが大切である。

## (4) 問題の内容

答案数=32,596

| 問 |     |    | 問題の内容 |                          | 問題形式 |    |    | 正答率<br>(%) | 無答率<br>(%) |
|---|-----|----|-------|--------------------------|------|----|----|------------|------------|
|   |     |    |       |                          | 選択   | 短答 | 記述 |            |            |
| 1 | (1) | ①  | 数と式   | 正の数と負の数（四則計算）            |      | ○  |    | 94.3       | 0.1        |
|   |     | ②  |       | 文字を用いた式（四則演算）            |      | ○  |    | 87.2       | 1.1        |
|   |     | ③  |       | 簡単な多項式（式の展開）             |      | ○  |    | 70.3       | 2.0        |
|   | (2) | ①  |       | 二次方程式（文字を用いた式で表す）        | ○    |    |    | 68.8       | 0.8        |
|   |     | ②  |       | 二次方程式（二次方程式を解くこと）        |      | ○  |    | 58.7       | 4.0        |
|   | (3) | ①  |       | 平方根（平方根についての理解）          | ○    |    |    | 68.0       | 0.2        |
|   |     | ②  |       | 平方根（素因数分解の利用）            |      | ○  |    | 71.5       | 5.5        |
|   | (4) | ①  | データ   | データの分布の比較（四分位範囲）         |      | ○  |    | 77.7       | 2.3        |
|   |     | ②  |       | データの分布の比較（四分位数）          |      | ○  |    | 45.5       | 8.1        |
|   | (5) | ①  |       | 場合の数を基にして得られる確率（直方体とカード） |      | ○  |    | 29.2       | 1.5        |
|   |     | ②  |       | 場合の数を基にして得られる確率（直方体とカード） |      | ○  |    | 26.6       | 5.9        |
|   | (6) | ①  | 関数    | 一次関数（交点の座標）              |      | ○  |    | 58.4       | 16.3       |
|   |     | ②  |       | 一次関数（一次関数の決定）            |      | ○  |    | 57.9       | 18.3       |
|   | (7) | ①  | 図形    | 平面図形（回転移動）               | ○    |    |    | 75.1       | 0.4        |
|   |     | ②  |       | 平面図形（作図）                 |      |    | ○  | 35.6       | 36.8       |
| 2 | (1) |    | 関数    | 関数 $y = ax^2$ （比例定数）     |      | ○  |    | 83.7       | 2.0        |
|   | (2) |    |       | 関数 $y = ax^2$ （三角形の面積）   |      | ○  |    | 61.6       | 9.1        |
|   | (3) |    |       | 関数 $y = ax^2$ （平行四辺形）    |      | ○  |    | 5.5        | 39.7       |
| 3 | (1) |    | 図形    | 平面図形（二等辺三角形）             | ○    |    |    | 79.5       | 0.2        |
|   | (2) | 6点 |       | 平面図形（三角形の相似の証明）          |      |    | ○  | 11.4       | /          |
|   |     | 3点 |       |                          |      |    |    | 5.1        |            |
|   |     | 無答 |       |                          |      |    |    |            |            |
|   | (3) |    |       | 平面図形（相似の応用）              |      | ○  |    | 2.0        | 52.9       |
| 4 | (1) |    |       | 平面図形（点の移動した跡）            |      | ○  |    | 74.8       | 5.8        |
|   | (2) |    |       | 平面図形（点の移動した跡）            |      | ○  |    | 28.8       | 22.3       |
|   | (3) |    |       | 空間図形（円錐の回転）              |      | ○  |    | 57.7       | 15.5       |
|   | (4) |    |       | 空間図形（円錐の回転）              |      | ○  |    | 30.7       | 18.4       |
|   | (5) |    |       | 空間図形（円錐の回転）              |      | ○  |    | 20.1       | 24.2       |
|   | (6) |    |       | 空間図形（円錐の回転）              |      | ○  |    | 12.6       | 41.6       |

## 4 理 科（本検査）

### （1）出 題 内 容

本年度も「観察・実験を題材とした問題」、「身近な生活に関わりのある問題」を出題した。

大問1の小問集合以外では、「観察・実験を題材とした問題」は大問3・4・5・6・7・8・9、「身近な生活に関わりのある問題」は大問2・4・5である。表現力をみる問題として、作図やグラフの問題を取り入れている。作図やグラフは、昨年度の本検査2問に対し、本年度の本検査は3問である。

### （2）結 果 の 説 明

全体の平均点は55.4点で、前年度と比べて3.7点低くなった。

なお、領域別の正答率については、物理的領域は47.5%、化学的領域は61.4%、生物学的領域は69.3%、地学的領域は45.5%であった。

正答率が高かった小問は、大問1を除くと、大問2(1)「哺乳類の特徴」、大問2(2)「節足動物の特徴」及び大問5(3)「蒸留で集めた液体の特徴」であった。一方、正答率が低かった問題は、大問3(4)「水中の物体が見えるときの光の道すじ〔作図〕」、大問4(4)「加湿器が放出した水蒸気量〔計算〕」及び大問6(4)「光電池パネルの設置角度〔計算〕」であった。

無答率が高かった小問は、大問3(4)「水中の物体が見えるときの光の道すじ〔作図〕」、大問4(4)「加湿器が放出した水蒸気量〔計算〕」及び大問9(4)「実験を基に求めた小球の質量〔計算〕」であった。

### （3）指 導 の ポ イ ン ト

物理的領域では、実験結果が得られたしくみを、法則を基に思考し、作図したり、文章にしてまとめたりすることが必要である。また、実験条件を変更した場合には、どのような結果が得られるのか、法則や規則性を基に思考し、物理現象について理解を深めさせたい。

化学的領域では、実験を行い、化学式を用いたり、計算した数値を基にしたりして、実験結果から考察することが必要である。蒸留や電池のように、実験における反応が、日常生活で起こる事象にどのように関連しているのかについても考察し、化学変化について理解を深めさせることが大切である。

生物学的領域では、観察・実験を行い、スケッチをとりながら観察したことを表現し、整理してまとめることが必要である。また、観察して得られた1つ1つの特徴を体系的に整理し、生物どうしの共通点や相違点について理解を深めさせたい。

地学的領域では、観察・実験で得られた結果を基に、グラフを作成したり、計算をして数値で比較したりしながら考察させることが必要である。また、考察では、異なる条件の場合にどのような結果が得られるのかを思考し、地学現象の時間的・空間的な変化について理解を深めさせることが大切である。

## (4) 問題の内容

答案数=32,580

| 問 |     |        |                       | 問題の内容        | 問題形式   |        |        | 正答率<br>(%) | 無答率<br>(%) |      |
|---|-----|--------|-----------------------|--------------|--------|--------|--------|------------|------------|------|
|   |     |        |                       |              | 選<br>択 | 短<br>答 | 記<br>述 |            |            |      |
| 1 | (1) | 物理     | 放射線                   |              | ○      |        |        | 90.3       | 0.0        |      |
|   | (2) | 化学     | 化学変化と熱の出入り            |              | ○      |        |        | 88.7       | 0.0        |      |
|   | (3) | 生物     | 遺伝子の本体                |              | ○      |        |        | 90.6       | 0.0        |      |
|   | (4) | 地学     | 示相化石                  |              | ○      |        |        | 88.6       | 0.0        |      |
| 2 | (1) | 生<br>物 | 哺乳類の特徴                |              | ○      |        |        | 96.1       | 0.0        |      |
|   | (2) |        | 節足動物の特徴               |              | ○      |        |        | 82.8       | 0.1        |      |
|   | (3) |        | 昆虫の特徴                 |              | ○      |        |        | 48.6       | 0.1        |      |
|   | (4) |        | 脊椎動物(鳥類)の分類           |              | ○      |        |        | 48.8       | 0.1        |      |
| 3 | (1) | 物<br>理 | 全反射と関連する現象            |              | ○      |        |        | 65.5       | 0.1        |      |
|   | (2) |        | ガラスで屈折する光の道すじ         |              | ○      |        |        | 32.8       | 0.1        |      |
|   | (3) |        | 水中の物体が浮かび上がって見える理由    |              | ○      |        |        | 47.1       | 0.3        |      |
|   | (4) |        | 水中の物体が見えるときの光の道すじ〔作図〕 |              |        |        | ○      | 15.2       | 19.6       |      |
| 4 | (1) | 地<br>学 | 身のまわりで起こる水の状態変化       |              | ○      |        |        | 77.5       | 0.1        |      |
|   | (2) |        | 露点前後の水蒸気量〔作図〕         |              |        |        | ○      | 20.0       | 14.9       |      |
|   | (3) |        | 室温が高い場合の露点と湿度         |              | ○      |        |        | 29.5       | 0.7        |      |
|   | (4) |        | 加湿器が放出した水蒸気量〔計算〕      |              |        | ○      |        | 9.7        | 20.2       |      |
| 5 | (1) | 化<br>学 | 蒸留のしくみ                |              | ○      |        |        | 72.1       | 0.1        |      |
|   | (2) |        | 実験装置の温度計の位置           |              | ○      |        |        | 32.4       | 0.1        |      |
|   | (3) |        | 蒸留で集めた液体の特徴           |              | ○      |        |        | 86.3       | 0.5        |      |
|   | (4) |        | みりんに含まれるエタノールの質量〔計算〕  |              |        | ○      |        | 40.1       | 14.7       |      |
| 6 | (1) | 地<br>学 | 地球の自転と日周運動            |              | ○      |        |        | 59.3       | 0.1        |      |
|   | (2) |        | 日の出の時刻                |              | ○      |        |        | 53.6       | 0.4        |      |
|   | (3) |        | 南中する時刻と南中高度           |              | ○      |        |        | 60.6       | 0.7        |      |
|   | (4) |        | 光電池パネルの設置角度〔計算〕       |              |        | ○      |        | 10.7       | 8.2        |      |
| 7 | (1) | 化<br>学 | イオンへのなりやすさ            |              | ○      |        |        | 72.7       | 0.3        |      |
|   | (2) |        | 銅板の表面で起こる変化           |              | ○      |        |        | 57.5       | 0.7        |      |
|   | (3) |        | 硫酸マグネシウムから生じる陽イオン     |              |        | ○      |        | 50.0       | 17.8       |      |
|   | (4) |        | イオンへのなりやすさと電池の電極      |              | ○      |        |        | 53.0       | 0.8        |      |
| 8 | (1) | 生<br>物 | 葉の断面の観察               |              | ○      |        |        | 76.4       | 0.5        |      |
|   | (2) |        | 気孔〔作図〕                |              |        |        | ○      | 63.2       | 3.7        |      |
|   | (3) |        | (a)                   | 蒸散の特徴        |        | ○      |        |            | 78.6       | 0.9  |
|   |     |        | (b)                   | 葉の裏側の蒸散量〔計算〕 |        |        | ○      |            | 38.7       | 10.1 |
| 9 | (1) | 物<br>理 | 振り子の左端での位置エネルギー       |              | ○      |        |        | 46.4       | 1.5        |      |
|   | (2) |        | 振り子の右端で糸が切れた後の運動      |              | ○      |        |        | 48.0       | 1.9        |      |
|   | (3) |        | 小球の位置エネルギー            |              | ○      |        |        | 37.6       | 3.0        |      |
|   | (4) |        | 実験を基に求めた小球の質量〔計算〕     |              |        | ○      |        | 44.5       | 19.4       |      |

## 5 英 語（本検査）

### （1）出 題 内 容

大問4（リスニングテスト）は、英語の対話を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかをみる問題である。聞いた内容に関するメモの空欄を補う形式となっている。

大問5は、基礎的な語彙や表現について知識及び技能をみる問題である。(3)(4)(5)については、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成することができるかをみる問題となっている。

大問6は、英作文問題で、絵の中の人物の台詞を英語で適切に表現する問題であり、実践的なコミュニケーションを意識した問題となっている。

大問8(3)は、英文から必要な情報を正しく読み取り、内容を理解したうえで「思考・判断」し、適切に「表現」する問題となっている。

### （2）結 果 の 説 明

全体の平均点は47.1点で、前年度と比べて9.3点低くなった。

正答率が高かったのは、大問2No.1「対話と質問を聞いて、答えとなる絵を選ぶ」及び大問1No.1「対話の最後の発話に対する応答を選ぶ」で、基本的な表現を用いた対話を聞いて理解する力をみる問題であった。

一方、正答率が低かったのは、大問5(4)「語順整序（“such as”を使った文）」及び大問8(3)「内容を踏まえ、空所に英語を補充する」で、これらは、既習の事項を活用し、対話の流れや英文の内容を理解したうえで正確な英文を作る問題であった。

無答率が高かったのは、大問8(3)「内容を踏まえ、空所に英語を補充する」であった。また、大問6の「英作文」も10%以上の受検者が無答であった。

### （3）指 導 の ポ イ ン ト

「聞くこと」においては、英語の音声を聞き取る力とともに、目的や場面、状況などに応じて、何を聞き取るべきか判断し、情報や考えなどを理解する力を育成することが大切である。そのために、音のつながりなどを意識した音読などを通して英語の音声を認識する力を育てるとともに、聞き取った情報をまとめたり、概要や要点を話して伝えたりする活動などを通して、情報を整理しながら聞き取ろうとする態度の育成が必要である。

語彙や表現については、既習の語彙や表現を言語活動において繰り返し活用することによって、生徒が自分の考えなどを表現する際に使用できる段階まで確実に定着させたい。

「読むこと」においては、多様な英文に触れ、「必要な情報を読み取る」「概要を捉える」「要点を捉える」など、目的に応じて様々な読み取り方を指導することが大切である。また、読んだ内容を簡潔に伝える活動や、内容に対する意見を述べる活動、さらにそれを書いて表現する活動など、内容を把握するだけでなく、領域間の統合的な言語活動を工夫し、五つの領域が密接に結び付いた英語の活用ができる力を育成する必要がある。

記述式の問題については、無答率が高いことが課題である。日頃から、口頭練習を十分にしてから書く活動をするなど、間違いを恐れずに取り組める工夫をするとともに、知っている語彙や表現を駆使して意図する内容を伝えることができるよう指導することも重要である。

## (4) 問題の内容

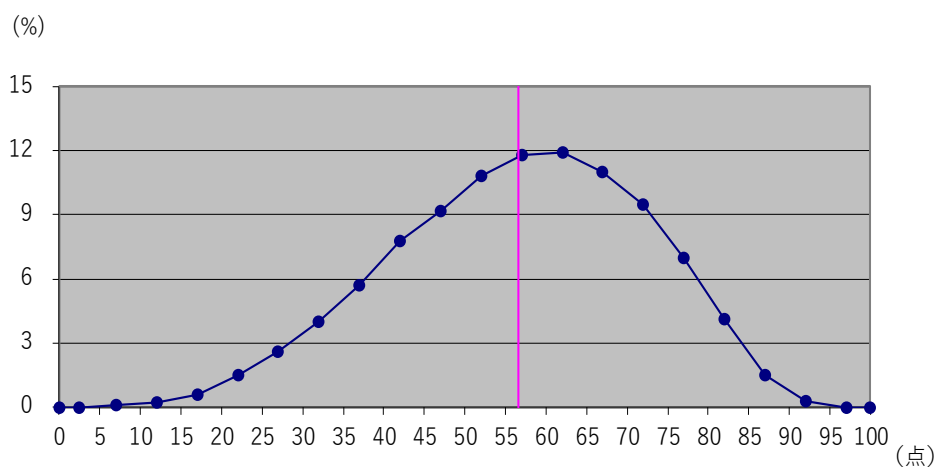
答案数=32,596

| 問   |            |                                                     | 問題の内容                                                            | 問題形式   |        |        | 正答率<br>(%) | 無答率<br>(%) |   |      |      |
|-----|------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|------------|------------|---|------|------|
|     |            |                                                     |                                                                  | 選<br>択 | 短<br>答 | 記<br>述 |            |            |   |      |      |
| 1   | No. 1      | リス<br>ニ<br>ン<br>グ                                   | 対話の最後の発話に対する応答を選ぶ                                                | ○      |        |        | 83.5       | 0.0        |   |      |      |
|     | No. 2      |                                                     | 対話の最後の発話に対する応答を選ぶ                                                | ○      |        |        | 68.8       | 0.1        |   |      |      |
|     | No. 3      |                                                     | 対話の最後の発話に対する応答を選ぶ                                                | ○      |        |        | 21.9       | 0.1        |   |      |      |
| 2   | No. 1      |                                                     | 対話と質問を聞いて、答えとなる絵を選ぶ                                              | ○      |        |        | 98.0       | 0.0        |   |      |      |
|     | No. 2      |                                                     | 文章と質問を聞いて、答えとなる絵を選ぶ                                              | ○      |        |        | 71.0       | 0.         |   |      |      |
| 3   | No. 1      |                                                     | 対話と質問を聞いて、答えとなる英語を選ぶ                                             | ○      |        |        | 56.1       | 0.1        |   |      |      |
|     | No. 2      |                                                     | 文章と質問を聞いて、答えとなる英語を選ぶ                                             | ○      |        |        | 61.8       | 0.2        |   |      |      |
| 4   | ①          |                                                     | 対話を聞いて、その内容を表すメモの空欄に入る英語を選ぶ                                      | ○      |        |        | 78.4       | 0.1        |   |      |      |
|     | ②          |                                                     | 対話を聞いて、その内容を表すメモの空欄に入る英語を選ぶ                                      | ○      |        |        | 40.1       | 0.4        |   |      |      |
| 5   | (1)        | 文<br>法<br>・<br>文<br>構<br>造                          | 指示代名詞thatを複数形thoseにする                                            |        | ○      |        | 37.2       | 3.7        |   |      |      |
|     | (2)        |                                                     | 動詞 wearを過去分詞形wornにする                                             |        | ○      |        | 14.1       | 4.4        |   |      |      |
|     | (3)        |                                                     | 語順整序 (I wish I had more time to read.)                           | ○      |        |        | 73.9       | 0.1        |   |      |      |
|     | (4)        |                                                     | 語順整序 (I think team sports such as soccer are good for children.) | ○      |        |        | 11.4       | 1.1        |   |      |      |
|     | (5)        |                                                     | 語順整序 (You should close the door to keep the room cool.)          | ○      |        |        | 18.8       | 0.4        |   |      |      |
| 6   | (1)        | 英<br>作<br>文                                         | 英作文(絵を見て状況に合った会話を完成させる)                                          |        |        | ○      | 24.3       |            |   |      |      |
|     |            |                                                     |                                                                  |        |        |        | 36.2       |            |   |      |      |
|     |            |                                                     |                                                                  |        |        |        |            | 11.3       |   |      |      |
|     | (2)        |                                                     | 英作文(絵を見て状況に合った会話を完成させる)                                          |        |        |        |            |            | ○ | 23.4 |      |
|     |            |                                                     |                                                                  |        |        |        |            |            |   | 32.3 |      |
|     |            |                                                     |                                                                  |        |        |        |            |            |   |      | 12.7 |
| 7   | (1)        | 発<br>表<br>原<br>稿<br>・<br>広<br>告<br>等<br>の<br>読<br>解 | 内容に合うようスライドを並べ替える                                                | ○      |        |        |            |            |   | 56.0 | 0.1  |
|     |            |                                                     | 内容と合わない英語を選ぶ                                                     | ○      |        |        |            |            |   | 26.3 | 0.3  |
|     |            |                                                     | 内容と合う英語を補充する                                                     |        | ○      |        |            |            |   | 24.0 | 14.7 |
|     |            |                                                     | 内容と合う英語を選ぶ                                                       | ○      |        |        | 33.2       | 0.7        |   |      |      |
|     | (2)        |                                                     | 内容と合う英語を選ぶ                                                       | ○      |        |        | 62.1       | 0.2        |   |      |      |
|     |            |                                                     | 内容と合う英語を選ぶ                                                       | ○      |        |        | 45.8       | 0.4        |   |      |      |
|     |            |                                                     | 内容と合う英語を選ぶ                                                       | ○      |        |        | 56.3       | 0.5        |   |      |      |
| 8   | (1)        | 長<br>文<br>読<br>解                                    | 本文の空所に入る英語を選ぶ                                                    | ○      |        |        | 56.3       | 0.4        |   |      |      |
|     | (2)        |                                                     | 文脈に合わない英語を選ぶ                                                     | ○      |        |        | 48.6       | 0.6        |   |      |      |
|     | (3)        |                                                     | 内容を踏まえ、空所に英語を補充する                                                |        |        | ○      | 6.0        |            |   |      |      |
|     |            |                                                     |                                                                  |        |        |        | 7.7        |            |   |      |      |
|     |            |                                                     |                                                                  |        |        |        | 3.6        |            |   |      |      |
|     |            |                                                     |                                                                  |        |        |        |            | 52.0       |   |      |      |
|     | (4)        |                                                     | 内容と合う英語を選ぶ                                                       | ○      |        |        | 29.0       | 1.1        |   |      |      |
| (5) | 内容と合う英語を選ぶ | ○                                                   |                                                                  |        | 57.9   | 1.6    |            |            |   |      |      |
| 9   | (1)        | 対<br>話<br>文<br>読<br>解                               | 文脈に合わせて英語を選ぶ                                                     | ○      |        |        | 61.5       | 0.3        |   |      |      |
|     | (2)        |                                                     | 文脈に合わせて英語を選ぶ                                                     | ○      |        |        | 42.1       | 0.6        |   |      |      |
|     | (3)        |                                                     | 文脈に合わせて英語を選ぶ                                                     | ○      |        |        | 54.8       | 0.9        |   |      |      |
|     | (4)        |                                                     | 文脈に合わせて英語を選ぶ                                                     | ○      |        |        | 48.1       | 1.2        |   |      |      |

## IV 【本検査】受検者の得点分布

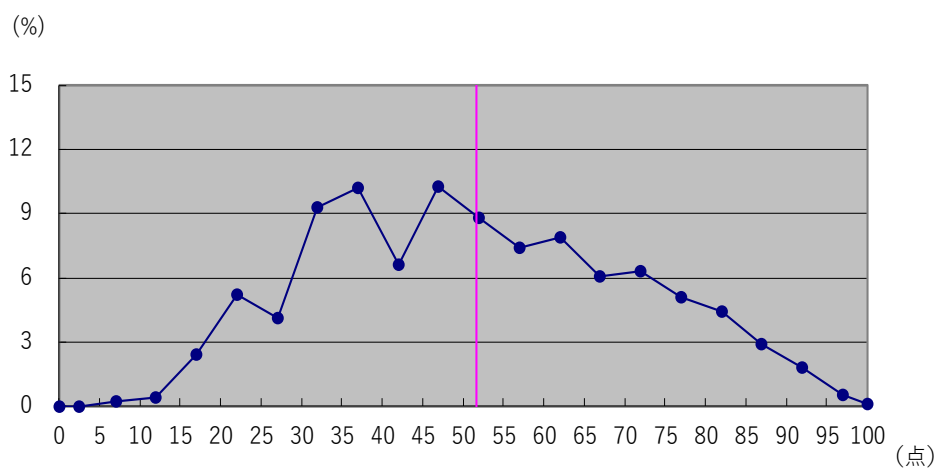
### 1 国語

平均点 56.6      標準偏差 15.6



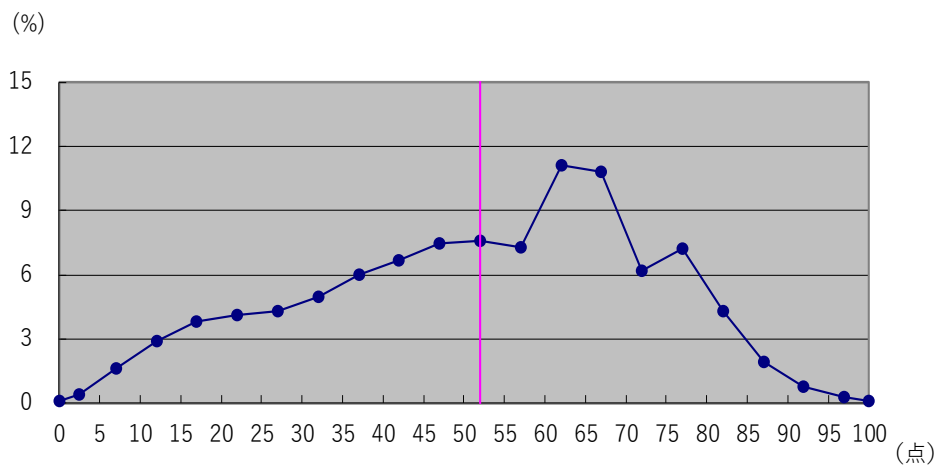
### 2 社会

平均点 51.7      標準偏差 19.5



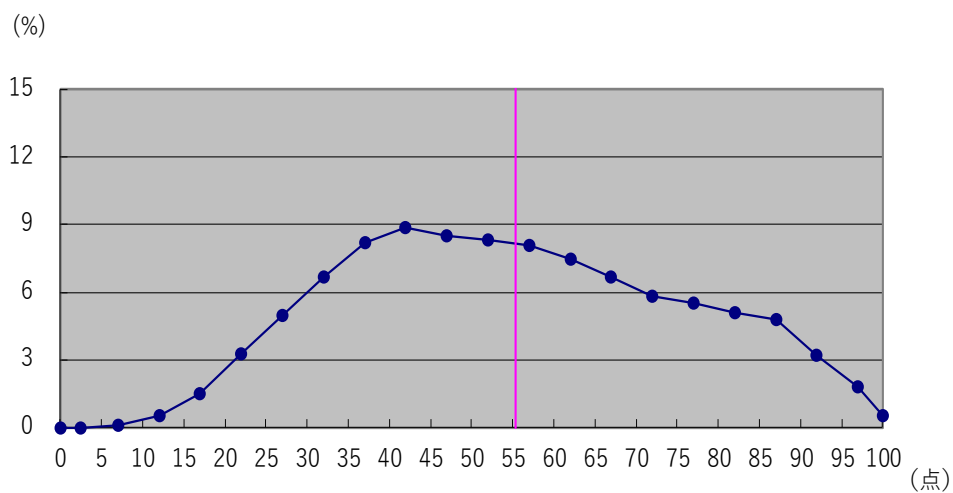
### 3 数学

平均点 52.0      標準偏差 20.8



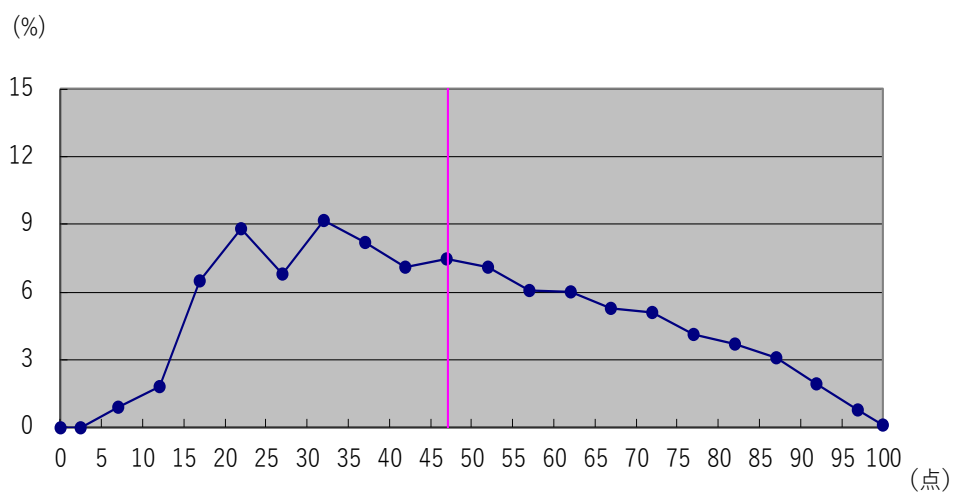
#### 4 理科

平均点 55.4      標準偏差 20.5



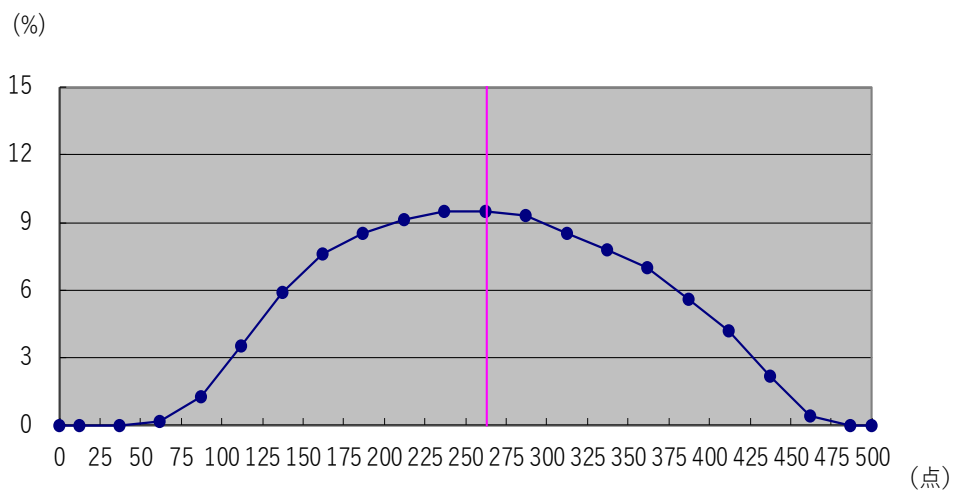
#### 5 英語

平均点 47.1      標準偏差 21.8



#### 6 5教科得点合計

平均点 262.8      標準偏差 88.3



## V 【追検査】

### 1 国 語（追検査）

#### （1）出 題 内 容

大問一（聞き取り検査）は、クラス対抗長縄跳び競争に向けた取り組みについて、実行委員の千葉さんと海野さんの二人が、クラスへの提案内容を検討している場面を聞き、会話の流れを正しく捉え、二人の考え方や質問のねらい、また今後の展開について考える問題である。

大問五（文学的な文章）(6)及び大問六（古典）(6)は、文章を読んだ生徒の話し合いの場面を別資料として提示し、複数資料の分析を通じてさらに深く読み解き、適切に自分の考えを表現する力をみる問題である。

大問七（条件作文）は、「弱いロボット」として開発された「ゴミ箱ロボット」の特徴を読み、前段では、「ゴミ箱ロボット」の動きによって人がどのような気持ちになるのか、後段では、前段の内容や自分の体験をふまえて考えが伝わる文章になるように、工夫して表現する問題である。

#### （2）問 題 の 内 容

| 問 |     | 問題の内容                              | 問題形式                                                                                                                    |                       |                       |
|---|-----|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
|   |     |                                    | 選択                                                                                                                      | 短答                    | 記述                    |
| 一 | (1) | 放送による聞き取り                          | 会話の流れの理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
|   | (2) | 「クラス対抗長縄跳び競争」に向けた取り組みについて話し合っている場面 | 会話の流れの理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
|   | (3) |                                    | 会話の流れの理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
| 二 | (1) | 漢字（読み）                             | 治（る）[なお]                                                                                                                |                       | <input type="radio"/> |
|   | (2) |                                    | 秀逸[しゅういつ]                                                                                                               |                       | <input type="radio"/> |
|   | (3) |                                    | 均衡[きんこう]                                                                                                                |                       | <input type="radio"/> |
|   | (4) |                                    | 意匠[いしょう]                                                                                                                |                       | <input type="radio"/> |
| 三 | (1) | 漢字（書き）                             | 湯（ゆ）                                                                                                                    |                       | <input type="radio"/> |
|   | (2) |                                    | 有能                                                                                                                      |                       | <input type="radio"/> |
|   | (3) |                                    | 貿易                                                                                                                      |                       | <input type="radio"/> |
|   | (4) |                                    | 無私                                                                                                                      |                       | <input type="radio"/> |
| 四 | (1) | 説明的な文章                             | 文章中の品詞の理解                                                                                                               | <input type="radio"/> |                       |
|   | (2) |                                    | 文章の内容の理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
|   | (3) |                                    | 文章の内容の理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
|   | (4) |                                    | 文章の内容の理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
|   | (5) | 『ことばと世界が変わるとき 意味変化の哲学』             | 文章の内容の理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
|   | (6) |                                    | 文章の内容の理解と表現<br>(20字以上、25字以内)                                                                                            |                       | <input type="radio"/> |
|   | (7) |                                    | 文章の構成の理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
| 五 | (1) | 文学的な文章                             | 文章中の慣用句の表現                                                                                                              | <input type="radio"/> |                       |
|   | (2) |                                    | 登場人物の心情の理解                                                                                                              | <input type="radio"/> |                       |
|   | (3) |                                    | 登場人物の心情の理解                                                                                                              | <input type="radio"/> |                       |
|   | (4) |                                    | 登場人物の心情の理解                                                                                                              | <input type="radio"/> |                       |
|   | (5) |                                    | 登場人物の心情の理解                                                                                                              | <input type="radio"/> |                       |
|   | (6) | 『花屋さんが言うことには』                      | 文章の内容の理解                                                                                                                | <input type="radio"/> |                       |
|   |     |                                    | 登場人物の心情の理解と表現<br>(10字以上、20字以内)                                                                                          |                       | <input type="radio"/> |
|   |     |                                    | 登場人物の心情の理解と表現<br>(10字以上、20字以内)                                                                                          |                       | <input type="radio"/> |
|   |     |                                    |                                                                                                                         |                       |                       |
| 六 | (1) | 古典<br>『田舎荘子』                       | 歴史的仮名遣い                                                                                                                 |                       | <input type="radio"/> |
|   | (2) |                                    | 主語の理解                                                                                                                   | <input type="radio"/> |                       |
|   | (3) |                                    | 文章中の内容の理解                                                                                                               | <input type="radio"/> |                       |
|   | (4) |                                    | 文章中の内容の理解                                                                                                               | <input type="radio"/> |                       |
|   | (5) |                                    | 文章中の内容の理解                                                                                                               | <input type="radio"/> |                       |
|   | (a) |                                    | 漢文訓読法                                                                                                                   | <input type="radio"/> |                       |
|   | (6) |                                    | 文章の内容の理解と表現<br>(20字以上、30字以内)                                                                                            |                       | <input type="radio"/> |
| 七 |     | 条件作文<br>「ゴミ箱ロボット」の特徴をふまえて考える       | 「ゴミ箱ロボット」の特徴を読み、条件に従って書く二段落構成の作文(200字以内)<br>・前段は、「ゴミ箱ロボット」の動きによって、人がどのような気持ちになるかを説明する<br>・後段は、前段の内容や自分の体験をふまえて、自分の考えを書く |                       | <input type="radio"/> |

## 2 社 会（追検査）

### （１）出 題 内 容

「現代社会の諸課題に対する関心や理解の程度をみることができる問題」を多く出題した。具体的には、大問 1(2)・(4)、大問 2(1)、大問 8(2)である。

「諸資料を活用し、社会的事象を判断・分析する力をみることができる問題」を多く出題した。具体的には、大問 2(2)・(4)①②、大問 3(3)、大問 4(5)、大問 5(4)、大問 6(1)、大問 7(1)である。

「社会的事象について思考・表現する力をみることができる問題」を、地理的分野、歴史的分野、公民的分野から 1 問ずつ出題した。具体的には、大問 3(5)、大問 4(4)、大問 6(3)である。

歴史的分野において、出来事などを年代の古いものから順に並べ替える問題を 2 問出題した。具体的には、大問 4(3)、大問 5(3)である。

### （２）問 題 の 内 容

| 問 |     | 問題の内容                 | 問題形式 |    |    |
|---|-----|-----------------------|------|----|----|
|   |     |                       | 選択   | 短答 | 記述 |
| 1 | (1) | 総合問題 明治時代より開始された情報媒体  | ○    |    |    |
|   | (2) | 働き方改革関連法とその影響         | ○    |    |    |
|   | (3) | 千葉県、北海道の農業            | ○    |    |    |
|   | (4) | 千葉県の課題と ICT 活用による課題解決 | ○    |    |    |
| 2 | (1) | 日本地理 日本最南端と排他的経済水域    | ○    |    |    |
|   | (2) | 日本の特定の県の気候と地理的特徴や世界遺産 | ○    |    |    |
|   | (3) | 日本の先住民族               |      | ○  |    |
|   | (4) | ① 地形図を読み取る            | ○    |    |    |
|   |     | ② 写真から地形図を読み取る        | ○    |    |    |
| 3 | (1) | 世界地理 時差問題             | ○    |    |    |
|   | (2) | E U における国際的分業         | ○    |    |    |
|   | (3) | アフリカのモノカルチャー経済の特徴     | ○    |    |    |
|   | (4) | 高山気候に住む動物             | ○    |    |    |
|   | (5) | 中国の人口政策の変化とその理由       |      |    | ○  |
| 4 | (1) | 前近代史 鑑真の来日の経緯         | ○    |    |    |
|   | (2) | 日本の法典の変遷              | ○    |    |    |
|   | (3) | 世界各国の出来事の並び替え         | ○    |    |    |
|   | (4) | 千葉県の酪農と徳川吉宗の政策        |      |    | ○  |
|   | (5) | 資料の読み取りに関する正誤         | ○    |    |    |
| 5 | (1) | 近・現代史 自由民権運動          | ○    |    |    |
|   | (2) | 樺太・千島交換条約             | ○    |    |    |
|   | (3) | 第二次世界大戦開戦までのことがら      | ○    |    |    |
|   | (4) | 第 5 回東京サミットにおける日本の役割  | ○    |    |    |
|   | (5) | 日本のラジオ放送の開始時期         | ○    |    |    |
| 6 | (1) | 経済 アルミ缶リサイクル率         | ○    |    |    |
|   | (2) | 好景気の社会の様子             | ○    |    |    |
|   | (3) | 消費税（逆進性）              |      |    | ○  |
| 7 | (1) | 政治 多数決と民主主義           | ○    |    |    |
|   | (2) | 日本国憲法                 | ○    |    |    |
|   | (3) | 政治の仕組み                | ○    |    |    |
| 8 | (1) | 国際 安全保障理事会の議決方法       | ○    |    |    |
|   | (2) | S D G s               | ○    |    |    |

### 3 数 学（追検査）

#### （１）出 題 内 容

大問１は、各領域の基本的な問題である。

大問２は、関数  $y=ax^2$  からの出題であり、与えられた条件から直線の式を求めたり、比例定数を求めたりする問題である。

大問３は、円周角の定理や同位角等を利用し、２つの三角形が合同であることを証明するとともに、図形の性質を利用し、線分の長さを求める問題である。

大問４は、カレンダーに使用されている特殊なさいころについて、会話文から情報を正確に読み取り、場合の数や確率を求める問題である。

#### （２）問 題 の 内 容

| 問 |     |   | 問題の内容       |                          | 問題形式   |        |        |
|---|-----|---|-------------|--------------------------|--------|--------|--------|
|   |     |   |             |                          | 選<br>択 | 短<br>答 | 記<br>述 |
| 1 | (1) | ① | 数<br>と<br>式 | 正の数と負の数（四則計算）            |        | ○      |        |
|   |     | ② |             | 文字を用いた式（単項式の乗法と除法）       |        | ○      |        |
|   |     | ③ |             | 正の数の平方根（根号を含む式の計算）       |        | ○      |        |
|   | (2) | ① |             | 二次方程式（因数分解の利用）           |        | ○      |        |
|   |     | ② |             | 二次方程式（因数分解の利用）           |        | ○      |        |
|   | (3) | ① | 図<br>形      | 空間図形（球の体積）               |        | ○      |        |
|   |     | ② |             | 空間図形（球の表面積）              |        | ○      |        |
|   | (4) | ① | デ<br>ー<br>タ | 場合の数を基にして得られる確率（カード）     |        | ○      |        |
|   |     | ② |             | 場合の数を基にして得られる確率（カードと碁石）  |        | ○      |        |
|   | (5) | ① |             | データの分布（四分位数）             | ○      |        |        |
|   |     | ② |             | データの分布（四分位数）             | ○      |        |        |
|   | (6) | ① | 関<br>数      | 比例（変域）                   |        | ○      |        |
|   |     | ② |             | 比例（比例の利用）                |        | ○      |        |
|   | (7) | ① | 図<br>形      | 平面図形（三平方の定理）             |        | ○      |        |
|   |     | ② |             | 平面図形（作図）                 |        |        | ○      |
| 2 | (1) | ① | 関<br>数      | 関数 $y = ax^2$ （比例定数）     |        | ○      |        |
|   |     | ② |             | 関数 $y = ax^2$ （直線の傾きと切片） |        | ○      |        |
|   | (2) |   |             | 関数 $y = ax^2$ （比例定数）     |        | ○      |        |
| 3 | (1) |   | 図<br>形      | 平面図形（同位角）                | ○      |        |        |
|   | (2) |   |             | 平面図形（三角形の合同の証明）          |        |        | ○      |
|   | (3) |   |             | 平面図形（相似の応用）              |        | ○      |        |
| 4 | (1) |   | デ<br>ー<br>タ | 場合の数（さいころで表す自然数）         |        | ○      |        |
|   | (2) |   |             | 場合の数（さいころで表す自然数）         |        | ○      |        |
|   | (3) |   |             | 場合の数（さいころで表す自然数）         |        | ○      |        |
|   | (4) |   |             | 場合の数（さいころで表す自然数）         |        | ○      |        |
|   | (5) |   |             | 場合の数を基にして得られる確率（さいころと関数） |        | ○      |        |
|   | (6) |   |             | 場合の数を基にして得られる確率（さいころと関数） |        | ○      |        |

## 4 理 科（追検査）

### （１）出 題 内 容

本年度も「観察・実験を題材とした問題」、「身近な生活に関わりのある問題」を出題した。大問１の小問集合以外では、「観察・実験を題材とした問題」は大問２・３・５・６・７・８・９、「身近な生活に関わりのある問題」は大問２・４・６である。表現力をみる問題として、理由を自分の言葉で説明する記述式の問題を３(３)・８(２)の２問、作図やグラフの問題を４(３)・７(２)(a)の２問出題した。

### （２）問 題 の 内 容

| 問 |     |    | 問題の内容                 | 問題形式       |        |        |   |
|---|-----|----|-----------------------|------------|--------|--------|---|
|   |     |    |                       | 選<br>択     | 短<br>答 | 記<br>述 |   |
| 1 | (1) | 物理 | フックの法則                | ○          |        |        |   |
|   | (2) | 化学 | 指示薬や試験紙               | ○          |        |        |   |
|   | (3) | 生物 | 血液中の成分                | ○          |        |        |   |
|   | (4) | 地学 | 太陽系の天体                | ○          |        |        |   |
| 2 | (1) | 生物 | スケッチの方法               | ○          |        |        |   |
|   | (2) |    | 植物の分類                 | ○          |        |        |   |
|   | (3) |    | 葉脈や子葉の分類              | ○          |        |        |   |
|   | (4) |    | 根の分類                  | ○          |        |        |   |
| 3 | (1) | 化学 | 溶解度と溶媒の質量〔計算〕         |            | ○      |        |   |
|   | (2) |    | 溶解度と再結晶する質量〔計算〕       |            | ○      |        |   |
|   | (3) |    | 再結晶しない理由              |            |        | ○      |   |
|   | (4) |    | 溶解度曲線                 | ○          |        |        |   |
| 4 | (1) | 地学 | プレート動き                | ○          |        |        |   |
|   | (2) |    | 震度                    | ○          |        |        |   |
|   | (3) |    | 初期微動継続時間と震源からの距離〔作図〕  |            |        | ○      |   |
|   | (4) |    | S波の到着予想時刻〔計算〕         |            | ○      |        |   |
| 5 | (1) | 物理 | 電圧計と電流計を含む回路          | ○          |        |        |   |
|   | (2) |    | オームの法則と抵抗値〔計算〕        |            | ○      |        |   |
|   | (3) |    | 並列・直列回路の電流            | ○          |        |        |   |
|   | (4) |    | 並列・直列回路の温度上昇          | ○          |        |        |   |
| 6 | (1) | 地学 | 等圧線の気圧                | ○          |        |        |   |
|   | (2) |    | 高気圧の気流の様子             | ○          |        |        |   |
|   | (3) |    | 寒冷前線の通過時刻             | ○          |        |        |   |
|   | (4) |    | 前線面の断面と寒気・暖気の動き       | ○          |        |        |   |
| 7 | (1) | 物理 | 力のはたらき                | ○          |        |        |   |
|   | (2) |    | (a)                   | 力の合成〔作図〕   |        |        | ○ |
|   |     |    | (b)                   | 分解した力の大小関係 | ○      |        |   |
|   | (3) |    | 分解した力の大きさ〔計算〕         |            | ○      |        |   |
| 8 | (1) | 生物 | 塩酸の処理と染色液             | ○          |        |        |   |
|   | (2) |    | 細胞分裂の説明               |            |        | ○      |   |
|   | (3) |    | (a)                   | 細胞分裂の進み方   | ○      |        |   |
|   |     |    | (b)                   | 染色体の様子     | ○      |        |   |
| 9 | (1) | 化学 | 水素の説明                 | ○          |        |        |   |
|   | (2) |    | 水の電気分解に水酸化ナトリウムを用いる理由 | ○          |        |        |   |
|   | (3) |    | 水の電気分解の化学反応式          |            | ○      |        |   |
|   | (4) |    | 水の電気分解で発生する酸素と水素の体積   | ○          |        |        |   |

## 5 英 語（追検査）

### （１）出 題 内 容

大問４（リスニングテスト）は、英語の文章を聞き、その要点を捉えることができるかをみる問題である。聞いた内容を要約した文の空所を補う形式となっている。

大問５は、基礎的な語彙や表現について知識及び技能をみる問題である。(3)(4)(5)については、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成することができるかをみる問題となっている。

大問６は、英作文問題で、絵の中の人物の台詞を英語で適切に表現する問題であり、実践的なコミュニケーションを意識した問題となっている。

大問７(2)(1)及び大問８(4)は、英文から必要な情報を正しく読み取り、内容を理解したうえで「思考・判断」し、適切に「表現」する問題となっている。

### （２）問 題 の 内 容

| 問 |       | 問題の内容                                            | 問題形式   |        |        |
|---|-------|--------------------------------------------------|--------|--------|--------|
|   |       |                                                  | 選<br>択 | 短<br>答 | 記<br>述 |
| 1 | No. 1 | 対話の最後の発話に対する応答を選ぶ                                | ○      |        |        |
|   | No. 2 | 対話の最後の発話に対する応答を選ぶ                                | ○      |        |        |
|   | No. 3 | 対話の最後の発話に対する応答を選ぶ                                | ○      |        |        |
| 2 | No. 1 | 対話と質問を聞いて、答えとなる絵を選ぶ                              | ○      |        |        |
|   | No. 2 | 文章と質問を聞いて、答えとなる絵を選ぶ                              | ○      |        |        |
| 3 | No. 1 | 対話と質問を聞いて、答えとなる英語を選ぶ                             | ○      |        |        |
|   | No. 2 | 文章と質問を聞いて、答えとなる英語を選ぶ                             | ○      |        |        |
| 4 | ①     | 文章を聞いて、その内容を表す文の空欄に合う英語を選ぶ                       | ○      |        |        |
|   | ②     | 文章を聞いて、その内容を表す文の空欄に合う英語を選ぶ                       | ○      |        |        |
| 5 | (1)   | 動詞 eat を現在分詞形 eaten にする                          |        | ○      |        |
|   | (2)   | 形容詞 easy を最上級 easiest にする                        |        | ○      |        |
|   | (3)   | 語順整序 (Do you know how to turn off this machine?) | ○      |        |        |
|   | (4)   | 語順整序 (How many children will come to the party?) | ○      |        |        |
|   | (5)   | 語順整序 (She asked me to help her with it.)         | ○      |        |        |
| 6 | (1)   | 英作文 (絵を見て状況に合った会話を完成させる)                         |        |        | ○      |
|   | (2)   | 英作文 (絵を見て状況に合った会話を完成させる)                         |        |        | ○      |
| 7 | (1)   | ① 内容と合う英語を選ぶ                                     | ○      |        |        |
|   |       | ② 内容と合う英語を選ぶ                                     | ○      |        |        |
|   |       | ③ 文脈に合う英語を選ぶ                                     | ○      |        |        |
|   |       | ④ 内容と合う英語を選ぶ                                     | ○      |        |        |
|   | (2)   | ① 内容と合う英語を補充する                                   |        | ○      |        |
|   |       | ② 内容と合う英語を選ぶ                                     | ○      |        |        |
|   |       | ③ 内容と合う英語を選ぶ                                     | ○      |        |        |
| 8 | (1)   | 本文の空所に入る英語を選ぶ                                    | ○      |        |        |
|   | (2)   | 内容と合わない英語を選ぶ                                     | ○      |        |        |
|   | (3)   | 内容と合う英語を選ぶ                                       | ○      |        |        |
|   | (4)   | 内容を踏まえ、空所に英語を補充する                                |        |        | ○      |
|   | (5)   | 内容と合う英語を選ぶ                                       | ○      |        |        |
| 9 | (1)   | 対話文読解 文脈に合わせて英語を選ぶ                               | ○      |        |        |
|   | (2)   | 対話文読解 文脈に合わせて英語を選ぶ                               | ○      |        |        |
|   | (3)   | 対話文読解 文脈に合わせて英語を選ぶ                               | ○      |        |        |
|   | (4)   | 対話文読解 文脈に合わせて英語を選ぶ                               | ○      |        |        |